

# 「ぐんま5つのゼロ宣言」の実現を目指して ～グリーンイノベーション～



## ぐんま5つのゼロ宣言って？

県では、自然災害によるリスクを抑え、県民の命を守り、安心な暮らしと安定した経済活動が可能な社会を実現するため「ぐんま5つのゼロ」を宣言しました。

「ぐんま5つのゼロ宣言」の実現により、災害に強く、持続可能な脱炭素社会を構築し、県民の幸福度を向上させます。

**2050年に向けた  
「ぐんま5つのゼロ宣言」実現条例**

「ぐんま5つのゼロ宣言」を条例に位置付け、脱炭素社会の実現や気候変動への適応、循環型社会の形成などを盛り込み、今年3月15日に公布しました。

### 宣言1 自然災害による死者「ゼロ」

県土の強靱化とともに、県民の防災意識を高め、自然災害による死者をゼロにする

### 宣言2 温室効果ガス排出量「ゼロ」

日照時間の長さや豊富な水資源・森林資源など本県の恵まれた再生可能エネルギー資源を最大限に活用して、温室効果ガスの排出量を実質ゼロにする

### 宣言3 災害時の停電「ゼロ」

エネルギーの自立・分散化(地産地消)により、災害時にも電力供給を継続する。さらに、地域外への富(電気代)の流出をなくし、地域内で資源循環させる

### 宣言4 プラスチックごみ「ゼロ」

環境中に排出されるプラスチックごみをなくす

### 宣言5 食品ロス「ゼロ」

「MOTTAINAI」(もったいない)の心で食品ロスをなくす

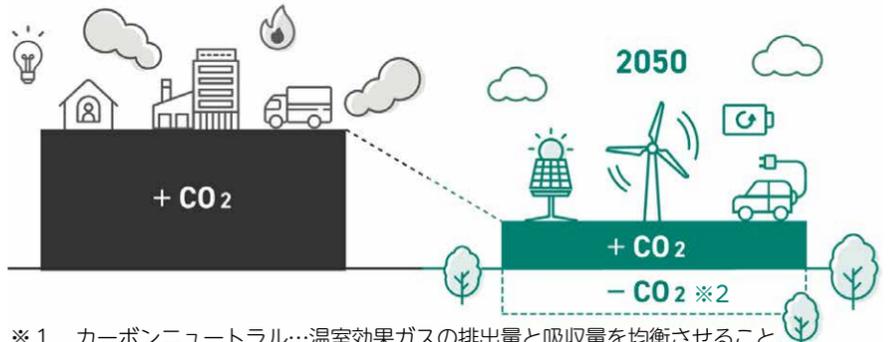
## ? グリーンイノベーションって ?

グリーンイノベーションとは、経済と環境の持続的な好循環を創り出し、経済社会全体の変革を促す取り組みのことです。

近年、県内においても、大雨による水害や高温による農作物への被害が発生するなど、気象災害が身近な問題となっています。地球温暖化による気温上昇を抑え、極端な高温や大雨などの頻度を抑制するためには、二酸化炭素の排出量を減らしていくことが必要です。

こうした気候変動問題の解決に向け、日本を含む世界120以上の国と地域で「カーボンニュートラル<sup>※1</sup>」に向けた取り組みが進められています。

グリーンイノベーションにより「ぐんま5つのゼロ宣言」の実現に向けた取り組みを進めるとともに、経済成長にもつなげていきます。



※1 カーボンニュートラル…温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させること  
 ※2 CO<sub>2</sub>…二酸化炭素  
 出典：環境省ホームページ ([https://ondankataisaku.env.go.jp/carbon\\_neutral/about/#to-what](https://ondankataisaku.env.go.jp/carbon_neutral/about/#to-what))

## グリーンイノベーションで脱炭素社会の実現へ

これまでの、環境に対する取り組みを進めると、経済には良くない影響が出ると考えられていて、それは仕方のないことだといわれてきました。この考え方を見直し、環境に対する取り組みを進めることで経済成長にもつなげていくことが、グリーンイノベーションです。

県が目指しているのは、カーボンニュートラルであり、資源と資金が地域で循環する「自立分散型社会」です。地域によって気候や環境が異なるため、それぞれの特色を生かしながら、自立分散型の社会を構築していくことが必要です。



群馬県は、長い日照時間や豊富な水・森林など、活用できる可能性のある再生可能エネルギー資源がたくさんあるため、それを最大限活用し、脱炭素社会の実現を目指していきたいと考えて

います。県では、再生可能エネルギーの導入拡大に向けて、条例の中で一定規模以上の建築物への再生可能エネルギー設備の導入を義務付けるとともに、設備導入の際に利用できる融資制度なども設ける予定です。今後も、県民や事業者などが再生可能エネルギーを導入しやすい環境の整備を進めていきます。



県グリーンイノベーション推進監  
兼環境森林部長  
すだえりこ  
須田恵理子さん

カーボンニュートラルに向けた世界の動きは速く、今、策を講じなければ、国際社会から取り残されてしまいます。県民の皆さんにも、再生可能エネルギーや電動車<sup>※</sup>の導入などをはじめ、節電や食品ロスの削減など、身近なところから取り組んでほしいですね。

※電動車…動力に電気を使う車両